

こどもライブラリーつうしん

ほんのもいの

トペア

10月号



発行：所沢市立所沢図書館 本館

◆おはなしかい◆ (第2・3・4土曜日)

〔10月〕12・19・26日 ※ひとりで きけるこ

📖 小さい子 4さいから 8 午後2時～午後2時30分

📖 大きい子 小学生から 8 午後3時30分～午後4時

◆親子おはなしかい◆ (第3金曜日)

〔10月〕18日

📖 乳幼児とその保護者 8 午前10時30分～

◆かみしばいのかい◆ (第1土曜日)

〔10月〕5日 4さいから 8 午後2時～午後2時30分

◆かがくあそび◆ (第1土曜日)

〔10月〕5日 「はしごくだり」をつくろう!

📖 小学生から 8 午後3時～

★ 先着15名 (当日受付) ✕ 持ち物 なし

あたらしいほん

『セミクジラのぬけがら』

きさらぎ 如月かずさ / 作
コマツシンヤ / 絵
かいせいしゃ 偕成社 《AFキ》

しょうがっこう 小学校1・2年から

ある日、ミッチはセミのぬけがらといっしょに、クジラのかたちの木のかけらをひろいました。ミッチがセミのぬけがらをかんに入れて、ふたとをじようとしたとき、ふたがコップにぶつかって、木のかけらにむぎ茶をこぼしてしまいました。すると…。

『ヒミツのかいだん』

たしませいぞう 田島征三 / 作
しょうがくかん 小学館 《Eタ》

しょうがっこう 小学校1・2年から

ユカは今日から1年生です。ユカが入学しきのまえに学校の中をたんけんしていると、小さなせまいかいだんを見つけました。ユカはかいだんが気になってしかたがありません。そこで、かいだんをのぼっていくと…。

『エベレスト』

サングマ・フランシス / 文
リスク・フェン / 絵
ちばしげき 千葉茂樹 / 訳
とくましょてん 徳間書店 《29.3》

しょうがっこう 小学校5・6年から

やく 約5000万年前に誕生した世界で一番高い山エベレスト。世界でもっとも危険な場所のひとつと言われているが、多くの登山家が山頂を目指して挑戦をしてきた歴史がある。エベレストにはなにがあるのだろうか？さあ、エベレストの魅力を探ろう！

はっこう：ところざわとしょかん ほんかん (こうくうこうえんない)

2019年10月1日 電話04-2995-6311



せかい いっしゅう



トベアと世界一周!



ひろ せかい し 知らないことはいっぱいだね。

こんげつ 中国 に旅にでたよ! 中国はこんな国だよ!



★中国は、正式には、**中華人民共和国**というんだ。

首都は北京だよ。

★国の面積は、なんと日本の約25倍で世界第4位の広さなんだ!

さらに、**人口はおよそ14億人**で、**世界で一番多い**んだよ。

世界の人口のほぼ5人に1人は**中国人**なんだ!

★中国の**食文化**といえば、**北京ダック**や、**飲茶**などがあるよ。

北京ダックは、北京名物のアヒルの**丸焼き**だよ。

カリカリに焼いたアヒルの皮をうすく切り、小麦粉で作った皮に包んで食べるよ。飲茶は小さな蒸籠に入れられたギョウザやシューマイなどを中国茶と楽しむ文化だよ。



★中国の**世界文化遺産**といえば、**万里の長城**だ。

これは、北方民族の侵入をおさえるためにつくられた壁で、日本列島の2倍以上の長さがあるよ。

『世界の地理 1』 井田仁康/監修 学研プラス《29.3》

読書週間

10月27日(日)~11月9日(土)は読書週間だよ。

読書の秋なので、ぜひ沢山本を手にとって、よんでみてね!

おしえて!トベア

≪トベアがちょっとしたなぞをおしえてくれるよ。≫

きみは知っているかな? ≫

今月はお米の巻!

季節が秋になり、おいしいお米が収穫される季節になってきたね。

そういえばなぜ、ごはんは“もる”というのだろうか?

トベア、おしえてよ。

昔、貴族であっても、農民であっても、ごはんは、器に山のようにもるのがきまりだったんだ。

そうすることで、神聖なお米に、神様の力が下りてくると考えたんだよ。そのなごりで、今もごはんを茶碗に「もる」、料理をお皿に並べることを「もりつける」というんだよ。

それでは、お米は、いつ、どこから日本にやってきたんだろうか。

本で調べてみよう。11月号で答え合わせするよ。



☆この本でしらべてみよう! ☆

『歴史ごはん 第1巻』 永山久夫/監修 山本博文/監修 <もん出版《38》

9月号のこたえあわせ 88歳の長寿の祝いは何というのかな?

答え:米寿だよ。

(「米」の文字を分解すると、「八」と「十」と「八」になるので、米寿と呼ばれるようになったんだ。)

『子どもに教える今日はどんな日?』 高橋司/著 PHP研究所《38》

『はじめて知るみんなの行事とくらし』 学研《38》